

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市宮城野区文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 H30 85,558人 R1 82,845人（前年度比96.8%） R2 29,839人（前年度比36.0%）	
	《事業》 ・仙台市宮城野区文化センターの運営管理 ・自主事業の開催	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 187,798千円 (180,338千円) ・ その他市が負担した費用 5,028千円 (4,008千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 26,858千円 (44,197千円) ・ その他収入 1,181千円 (2,782千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートを実施 ①対象：令和2年4月1日から令和3年2月28日までのホール利用者 期間および方法：令和3年2月22日郵送⇒3月15日到着分まで ②対象：令和3年2月23日から令和3年3月10日までの諸室利用者 期間および方法：利用時に直接記入、提出	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的を踏まえ基本方針が定められており、職員は施設の目的を十分理解していると同時に、施設目的の達成度も良好である。 地域の文化振興に資する自主事業を積極的に展開している。また、施設の特性を生かし利用者が文化芸術に触れる機会を数多く創出している。	39/39
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績、配置状況、開館の実績、指定管理料の執行状況、個人情報の保護、情報セキュリティ対策、事故防止対策への取組、事故発生時の対応体制の構築、災害発生時の対応体制の構築については、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物・設備の管理・安全性の確保・機能保持、備品の管理、清掃業務、警備業務、環境への配慮、外構の保守点検・清掃、植栽・樹木等の維持管理ともに、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	24/24
IV サービスの質の向上	職員のマナー、利用しやすい受付案内、適切な情報の提供、利用促進の取組、サービス水準の確保、職員の教育・研修、利用者からの意見・苦情に対する対応については、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	28/28
V 施設固有の基準	関係機関との連絡会の実施等で情報共有を図り、連携して施設管理に取り組んでいる。駐車場の混雑対策においても、混雑緩和に向けた取り組みを行っている。 室内楽コンサート「Music From PaToNa」や「ワンコインコンサート」により本文化センターの特徴である音の響きのよいコンサートホールを活かした取り組みを実施することで市民が身近にクラシックに触れる機会を創出している。また、宮城野高校美術科と連携をとり卒業制作展を実施するなど、常に新しいイベントを地域団体等と協力をして企画実施し、文化芸術の振興に寄与している。 さらに、自主事業以外の催事チケットを文化センター内で取り扱う「みやぶんチケットサービス」は他の施設ではほぼ例をみない取り組みであり、来館者増加・利用者の文化芸術に触れる機会を創出している。	8/6

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

宮城野区文化センターの指定管理者として、協定書、仕様書に基づき適切な運営管理業務を行いました。業務遂行にあたっては、お客様へのサービス向上と共に、「劇場法」の趣旨に沿って文化芸術の振興により豊かな地域社会の実現に寄与することを目指し、様々な取り組みを進めました。

施設管理面では、ゴミ減量対策を継続して行い、年間リサイクル率が70%に達しました。新型コロナウイルス感染症への対応として、ソーシャルディスタンスに配慮したホール客席図と座席表示をいち早く作成し、空調設備による空気入替時間を各部屋に表示するなど、安全・安心で快適な施設を維持するための取組を進めました。

事業面では、パトナホールにおける優れた音楽鑑賞事業は、地域の方々に親しまれると共に音楽関係者からも高く評価されています。更に先駆的な取り組みとして、文化芸術の周知と発信、音楽鑑賞機会の促進やお客様の利便性向上などを目的に、ホールで開催される催事チケットの取り扱いを行いました。また、市民が文化に親しみやすい環境づくりの一環として、ワンコインシリーズを開催しました。2014年度から継続しているコンサートは、これまでに41回の公演を重ね、市内の他施設には例をみない取り組みです。加えて、2020年度は、演劇やリーディングを気軽に味わうことができるワンコインシアターを新たに立ち上げ、実績のあるコンサートと並ぶ地域に浸透した公演となることを目指し、開催しました。

地域の皆様に愛される憩いの場として、併設児童館や区内の保育園などと協力して行っている花壇の整備や四季折々のセンター内装飾など、豊かな地域コミュニティの醸成に向けての取り組みも継続して進めました。

今後も施設の特性を最大限に活かした事業を展開すると共に地域の皆様の活動を幅広くサポートし、地域文化の創造、発信、交流の拠点となる施設の運営管理を行ってまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》

アンケート結果は例年良好であるが、現状に満足することなく、より一層利用者の意見を抽出するためにアンケートの様式・収集方法を見直しており、高い向上心をもってサービス向上に努めている。

今回のアンケート結果も利用者の満足度が高く、日頃の努力の成果が見て取れたが、改善の余地がある意見も一部見受けられたため、さらなるサービス向上に繋げていただきたい。

また、コンサートホールで行われる催事チケットを文化センター内で取扱う「みやぶんチケットサービス」は、他施設にほとんど例をみない取組みであり、来館者増加・利用者の文化芸術に触れる機会の創出への工夫や努力がみられる。

当文化センターの目玉であるコンサートホールを存分に生かした取組みについても積極的に行っており、室内楽コンサートMusic From PaToNaやワンコインという手頃な価格で質の高いコンサートや演劇・朗読を定期的で開催し、市民が芸術活動を身近に親しむ機会を創出している。

地域住民や併設施設とも良好な関係を維持し、宮城野高校美術科卒業制作展や、震災復興交流事業「あなたのオモイそれぞれのカタチ」の開催、文化センター前広場における花壇の整備など様々な活動を地域団体等と連携して行っている点についても大いに評価できる。

以上のほか、ヒアリング、現地調査等の結果より、市民協働事業により策定された「宮城野区文化センター物語」を基本とし、施設の設置者が求める要求水準を十分に満たしているといえる。

総合評価

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

コロナウイルス感染症対策として、ホール利用者への参考にあらかじめソーシャルディスタンスに対応した客席図の作成や座席への表示を行い、また空調システムによる諸室毎の換気量を算出し「空気入替時間」として各諸室に掲示するなど、コロナ禍における施設利用対策を十分に行った。

なお、座席表示と換気量の算出の取り組みについては、類似施設の職員や主催者となる団体等への参考として劇場利用・イベント開催における感染防止策を実践・検証する催事の中で紹介されるなど、同業種内でも高い評価を受けている。

◎ 評価担当課（施設所管課）：宮城野区まちづくり推進部まちづくり推進課